

「校長室」 通信

第4号

都城市立姫城中学校だより

令和3年6月14日(月) 文責: 校長 永山博一

姫ボラ 県知事表彰 県NO.1

「宮崎県地域環境保全功労者表彰」があり、6月3日(木)に県庁で県内の個人2名・企業や地域、学校の5団体が県知事からの表彰を受けました。学校関係では、姫城中ボランティアが、まさしく宮崎県 NO.1になりました。



県庁で姫ボラ代表 満行さんが受賞

これまで、多くの先輩方が、校内外のゴミ拾い、残菜の肥料化、節水活動、校内での便器手洗い清掃、雑巾を作成して、地域へ配布など毎年様々な形で、環境保全・美化に努めてきた活動が認められ、今回の表彰となりました。

また、SDG'S「持続可能な開発目標」を社会全体で取り組む中で、貢献できる活動につなげていくことも必要です。

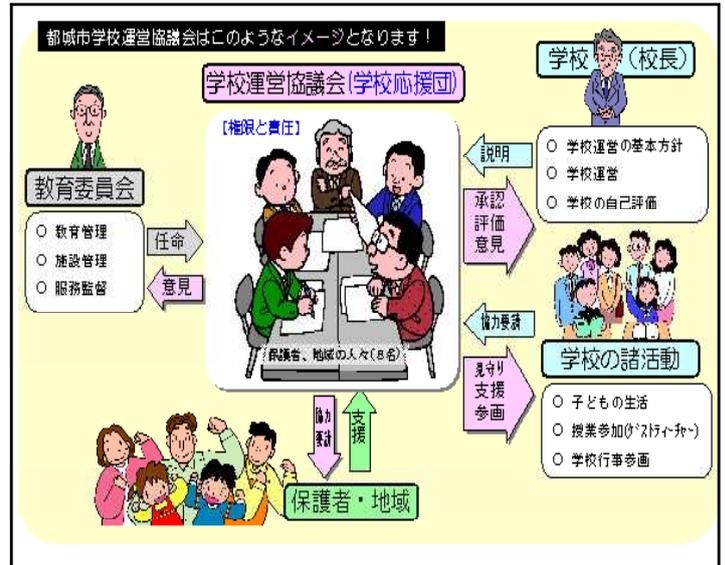
学校運営協議会



6月10日(木)学校運営協議会を開催しました。この制度は、学校・家庭・地域社会が一体となって学校づくりに取り組み、地域に開かれ、地域に支えられる学校づくりに協力をいただきます。また、「学校の応援団」として役割を担っていただいています。

姫城中学校では下記8名の方を学校運営協議会委員に委嘱し、情報や提案を頂きながら進めていきます。

会長	花牟禮秀斉 (PTA会長)	(敬称略)
副会長	星村太一 (都城市社会福祉協議会)	
委員	荒武良治 (八幡町自治公民館長)	
	温水智久 (元西町自治公民館長)	
	野口恵子・坂元紀代子 (民生児童委員)	
	谷口悦子 (地区福祉協議会事務局長)	
	河野謙司 (都城市商工会議所)	



地域でも「礼を正し」レベルアップを!!



本年度は、あいさつのレベルアップを、クラス・生徒会・部活動など学校全体で取り組んでいます。校内では、確実に向上していますが、登下校中や地域でも実践していきましょう。

ご家庭でも、仕事や社会人として大切なあいさつについて、保護者の皆様の経験をお話頂くと助かります。

【自分から先に、お辞儀をして、聞こえる声で】

校長の独り言コーナー 『部活動のお陰』

45年前の都城地区中体連バスケットボール決勝戦、五十市中と小松原中(私の所属)で、結果は敗れ県大会出場ならず(当時県大会は1位のみ出場)さらに、五十市中は県大会優勝、九州大会に出場しました。先日、五十市中に行く機会があり、記念碑があることに気づき懐かしく思い出しました。当時の五十市中の主将は、現在志和地中の前村校長先生です。また、当時の顧問の奥野先生【87歳超えてもお元気です】コーチの神田さんにもお会いします。中学時代バスケットをしたお陰で、自分自身がバスケット部の顧問になったり、多くの出会いや時には助けて頂いたりしました。さらに、自分の長男や二女もバスケット経験者です。1年前まで保護者として送迎もしました。高校時代は、ハンドボール部、これも決勝戦で小林工業(現秀峰高校)に残り1分で逆転負け、神戸インターハイに行けず。残り5分3点差「勝てた」と思ったことが最後の詰め(守り)に甘さが出たと思います。部活動のお陰で、多くの方にお世話になり、友達ができたり、あいさつの大切さ、悔しさ、苦しい練習、協力やルール、最後まで諦めない、油断しない心構え。また、シュートを決めた時の爽快感など、教室の中では味わえないたくさんのことを学んだことが財産です。皆さん、部活動でなくとも、習い事や趣味、ボランティア、手伝いでも、勉強以外に学ぶ場面はたくさんあります。何か1つでもいいから見つけて下さいね。